

Ⅱ 県計画等の概要

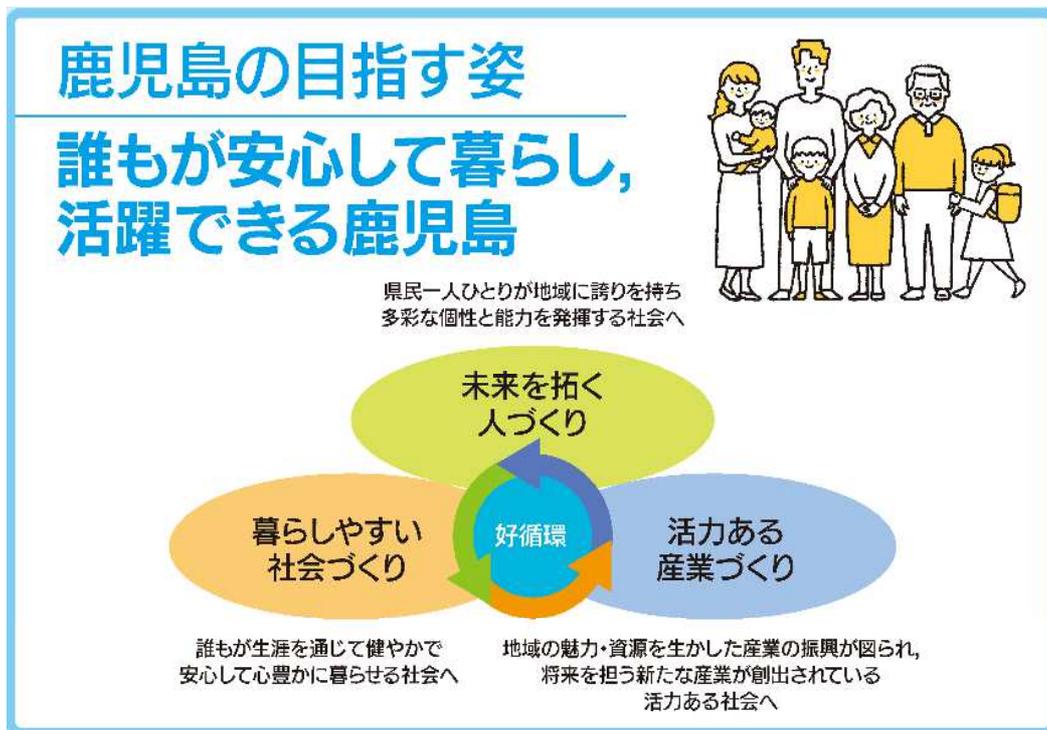
1 県計画等の沿革

策定 年次	県の計画等	計画 期間	国の計画等
S 24	鹿児島県経済振興五ヶ年計画	S 24～28	S 30 経済自立5か年計画
S 35	鹿児島県経済振興計画	S 33～42	S 35 国民所得倍増計画
S 39	鹿児島県経済振興計画修正計画	S 37～42	S 37 全国総合開発計画
S 43	20年後の鹿児島	S 40～60	
S 44	第1次県勢発展計画	S 44～48	S 44 新全国総合開発計画
S 47	第2次県勢発展計画	S 46～50	S 52 第三次全国総合開発計画
S 51	県政推進3ヶ年計画	S 51～53	
S 53	鹿児島県総合計画	S 53～60	
S 59	2000年のかごしま	S 60～75	
S 60	鹿児島県新総合計画	S 60～69	S 62 第四次全国総合開発計画
H 2	鹿児島県総合基本計画	H 3～12	H10 21世紀の国土のグランドデザイン
H13	21世紀新かごしま総合計画	H13～22	H20 国土形成計画（全国計画）
H20	かごしま将来ビジョン	H20～29	H26 国土のグランドデザイン2050
H27	鹿児島県まち・ひと・しごと 創生総合戦略	H27～31	H26 まち・ひと・しごと創生総合戦略 H27 第2次国土形成計画（全国計画）
H30	かごしま未来創造ビジョン	H30～	
R 2	第2期鹿児島県まち・ひと・し ごと創生総合戦略	R 2～6	R 1 第2期「まち・ひと・しごと創生 総合戦略」
R 4	かごしま未来創造ビジョン （改訂版）		
R 5	第2期鹿児島県まち・ひと・し ごと創生総合戦略（改訂版）	R 2～9	R 4 デジタル田園都市国家構想総合戦略

2 かがしま未来創造ビジョン（改訂版）

県では、新型コロナウイルス感染症の拡大、デジタル化の進展、SDGsの推進やカーボンニュートラルの実現など、昨今の社会経済情勢の変化を受け、おおむね10年後の鹿児島を目指す姿や施策展開の基本方向などを示す「かがしま未来創造ビジョン」を令和4年3月に改訂しました。

このビジョンで示す施策展開の基本方向に沿って、各般の施策を着実に進めていくこととし、「誰もが安心して暮らし、活躍できる鹿児島」を目指し、「未来を拓く人づくり」、「暮らしやすい社会づくり」、「活力ある産業づくり」に取り組み、これらの好循環を生み出すことにより、時代の潮流にも的確に対応し、将来にわたって全ての県民が生き生きと活躍し、安心して心豊かに暮らし続けられる鹿児島の実現を図ります。



施策展開の基本方向（15の柱）

- 1 誰もが個性と能力を発揮し活躍できる社会の実現
- 2 結婚、妊娠・出産、子育ての希望がかなう社会の実現
- 3 健康で長生きできる社会の実現と良質な医療・介護の確保
- 4 地域を愛し世界に通用する人材の育成、文化・スポーツの振興
- 5 脱炭素社会の実現と豊かな自然との共生
- 6 安心・安全な県民生活の実現
- 7 快適な生活環境の向上と世界につながる県土の創造
- 8 個性を生かした地域づくりと移住・交流の促進
- 9 多様で魅力ある奄美・離島の振興
- 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上
- 11 観光の「稼ぐ力」の向上
- 12 企業の「稼ぐ力」の向上
- 13 多彩なキャリアをデザインできる働き方の創出
- 14 デジタルテクノロジーを活用した県民の暮らしの質の向上
- 15 持続可能な行財政運営

3 第2期鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略（改訂版）

地方創生に向けた取組の推進に当たっては、本県が有する世界に通用する素晴らしい地域資源「ポテンシャル」を最大限に生かすとともに、全ての人の人権やジェンダー平等の視点に配慮しながら、「誰もが安心して暮らし、活躍できる鹿児島県」を実現できるよう、デジタルの力も活用して、本県の基幹産業である農林水産業や観光関連産業の重点的な振興や、高い技術力を有する製造業の競争力の強化や将来を担う新たな産業の創出などの鹿児島県の「稼ぐ力」の向上、人材の確保・育成、移住・交流の促進など、経済成長や県勢の発展に資する施策を推進するとともに、子育て支援や高齢者活躍支援など、県民福祉の向上に向けた施策の充実を図り、3つの取組方針ごとに、具体的な施策を展開することとし、令和2年度から9年度までの8年間を対象期間として、令和5年12月に策定しました（当初戦略は令和2年3月に策定。対象期間は令和2年度から6年度までの5年間）。

なお、具体的な施策の展開に当たっては、地域の個性を生かしながら、デジタルの力も活用して、地方創生の取組を加速化・深化させるとともに、SDGs（持続可能な開発目標）の理念を踏まえ、具体的な課題解決等に取り組みます。

<第2期鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略（改訂版）の概要>

[総合戦略(改訂版)の対象期間:令和2~9年度]

取組方針	取組の方向と具体的な施策	
<p>I 「しごと」をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 鹿児島県に産業・雇用をつくる 農林水産業や観光など重点的な振興を図る 	<p>◆ 働く場の創出</p> <ol style="list-style-type: none"> 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 <ul style="list-style-type: none"> ア 農林水産業の生産・加工体制の強化、付加価値の向上 イ 農林水産業の販路拡大・輸出拡大 ウ 農山漁村の活性化 観光の「稼ぐ力」の向上 <ul style="list-style-type: none"> ア 国内外における戦略的なPRの展開 イ 魅力ある癒やしの観光地の形成 ウ 戦略的な誘客の展開 エ オール鹿児島県でのおもてなしの推進 オ 観光関連施策の推進 企業の「稼ぐ力」の向上 <ul style="list-style-type: none"> ア 生産性と付加価値の向上による産業競争力の強化 イ 将来を担う新たな産業の創出 ウ 中小企業の経営基盤の強化 エ 県産品の国内外マーケットへの戦略的な展開 オ 建設現場における生産性の向上 多彩なキャリアをデザインできる働き方の創出 	<p>主な「目指すべき結果(評価指標)」</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業産出額:5,000億円(R7年度) スマート農業技術の導入件数:1,700件 スマート水産業導入漁協等の件数:25件 県産農林水産物輸出額:約500億円(R7年度) 観光消費額:3,700億円(R6年) 延べ宿泊者数:990万人泊(R6年) 外国人延べ宿泊者数:150万人泊(R6年) 付加価値の創出・向上につながった企業の割合:95% 県内建築士事務所のBIM導入率:50%(R7年度) 企業立地件数:290件(累計)(R2~9年度) 起業支援後3年以上事業継続している事業者の割合:90% 県産品の海外へ新規販路開拓した商品数:380商品 年次有給休暇取得率:77%
<p>II 「ひと」をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 鹿児島県への人の流れをつくる・人を育てる 鹿児島県で結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる 誰もが個性と能力を発揮し活躍できる社会をつくる 	<p>◆ 誰もが活躍できる社会の実現、人材の確保・育成</p> <ol style="list-style-type: none"> 誰もが活躍できる社会づくり 移住・交流の促進、関係人口の創出 地域産業等を支える人材(財)の確保・育成 次世代をリードする人材の育成 教育環境の整備 高齢者が健やかで生きがいを持てる社会づくり <p>◆ 結婚、妊娠・出産、子育ての希望がかなう社会の実現</p> <ol style="list-style-type: none"> 結婚、妊娠・出産の希望を実現できる社会づくり 安心して子育てができる社会づくり 子どもの夢や希望を実現する環境づくり 子どもたちが未来に希望を持てる社会づくり 	<p>主な「目指すべき結果(評価指標)」</p> <ul style="list-style-type: none"> 県女性活躍推進宣言企業制度登録数:275社 障害者雇用体験事業を活用した雇用移行者:160件(累計) 市町村の相談窓口等を通じた県外からの移住者数:16,000人(累計)(R5~9年度) 高校生の県内就職率:現状以上の就職率(R4:61.0%) 農業の担い手確保数:10,000経営体(R7年度) 授業において「ほぼ毎日」コンピュータなどのICTを活用している学校の割合:小・中ともに80% 認知症サポーターの養成数:241,000人 かごしま出会いサポートセンターの会員の延べ成婚数:110組(R6年度) 乳児死亡率(出生千人対):2.1以下(R6年度) 保育所待機児童数:0人(R6年度) こども家庭センターの設置市町村数:43市町村
<p>III 「まち」をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 活力があり、安心・安全な暮らし、地域でのつながりがある、かごしまをつくる 	<p>◆ 時代に合った、安心・安全で活力ある地域づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> 地域づくり 安心・安全な暮らしづくり デジタルテクノロジーを活用した県民の暮らしの質の向上 地域間連携 個性豊かで魅力ある景観づくりと活力あるまちづくり 脱炭素社会の実現と豊かな自然との共生 	<p>主な「目指すべき結果(評価指標)」</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内に定住した地域おこし協力隊員数:237人(累計)(R2~9年度) 地区防災計画の策定状況:28地区 障害福祉分野における介護ロボット等の導入施設数(入所系):39施設 オンライン収納対応手続きにおけるオンライン収納率:10.3% マイナンバーカードを活用した住民サービス向上のための取組を実施している市町村数:43市町村 温室効果ガス排出量:毎年度削減

※3つの取組方針に沿って、地方創生に向けた具体的な施策を展開する。



4 マニフェスト ～誠実・着実 みんなでつくる鹿児島県の今と未来～

現在、人口減少時代を迎えつつある中で、国際情勢、経済情勢などが著しく変化しており、今後も、ふるさと鹿児島が持続的に発展していくためには、情勢の変化に適応しながら、基幹産業である農林水産業、観光関連産業のさらなる振興と、高い技術力を持つ製造業、情報サービス業、ヘルスケア産業など、新たな産業を興していくことが必要です。若い人たちが働く場をつくってまいります。これを基盤として、高齢者や女性、障がい者、子どもたち、あらゆる方々が生き生きと活躍し、暮らしていける鹿児島県をつくってまいります。

「県民の皆さまと一っしょに鹿児島県の今と未来をつくる」ということを基本に「誠実に」、 「着実に」 県政に取り組んでまいります。

鹿児島県知事 塩田 康一

鹿児島県を変える8本の柱に沿って、次の新しい鹿児島県をつくる取り組みを進めてまいります。

新型コロナへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナ対策を最優先にした財政出動 ●コロナウイルス感染防止対策と医療体制の確保 ●コロナウイルスの影響を克服する強力な産業支援
脱原発に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ●原発に代わる再生可能エネルギーの導入促進、蓄電池の普及促進と省エネの徹底 ●3号機の増設は凍結 など
アジア中核都市の実現	<ul style="list-style-type: none"> ●コンベンション機能の強化 ●鹿児島の伝統と文化が息づく街づくり ●交通インフラの充実 ●若者の交流促進 ●外国人受け入れ基盤の充実 ●貿易・投資交流の促進 ●芸術・スポーツの振興 など
県民が安心できる行政づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●県民との対話と行政プロセスの適正化 ●県民サービスの向上 ●防災・危機管理の充実 ●総合体育館問題など市町村との連携強化 など
県民が豊かになる産業振興	<ul style="list-style-type: none"> ●農商工連携による新商品開発、販路開拓、鹿児島ブランドの一層の確立等農林水産業のさらなる振興 ●鹿児島の地域資源を活かした観光のさらなる振興、PR ●地域経済を牽引する中堅・中小企業支援 ●新たな産業の創出、起業支援 など
優しく働きやすい福祉の実現	<ul style="list-style-type: none"> ●健康寿命の延伸 ●介護・福祉の充実 ●子育て支援 ●高齢者や女性、障がい者、外国人など多様な人材の活躍支援 など
鹿児島県が誇れる人づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●郷土教育の充実 ●インターンシップの充実 ●国内外からの人材誘致 ●事業承継の促進 など
多様な魅力を持つ離島は、鹿児島県の宝	<ul style="list-style-type: none"> ●離島の魅力の情報発信 ●交通アクセスの課題への取り組み ●エネルギー問題の解決 ●安心して暮らしていける医療体制の整備 ●特産品の開発や販路開拓 など